

2025年/秋号

雄飛

Vol.32



令和7年度定時社員総会開催報告

令和7年6月14日(土)に「令和7年度定時社員総会」を福岡工業大学(E棟2階会議室1)にて開催いたしました。代議員20名が出席し、委任状提出が6名、オブザーバー出席が1名ありました。

議題 :

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 令和6年度活動報告について | 2. 令和6年度決算および監査報告について |
| 3. 令和7年度活動計画(案)について | 4. 令和7年度収支予算(案)について |
| 5. 現行支部組織の見直しと親睦会支援の強化について | 6. その他 会費規程(改正案)について |

全ての議案について、挙手採決したところ賛成多数で、原案のとおり承認されました。

また、議題5にて承認されました現行支部組織の見直しにつきましては、以下のお知らせをご覧ください。

会員の皆さんへ

雄飛会(同窓会)の今後の活動について(お知らせ)

平素より、会員の皆さんには雄飛会(同窓会)の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

近年、各地の雄飛会(同窓会)支部活動では、参加者の固定化や高齢化が進み、役員後継者の確保にも困難を伴うなど、活動の継続が難しい状況となっております。

このため、雄飛会(同窓会)では令和6年6月の社員総会において「同窓会活動の活性化策」を承認し、本部組織支援部の所管のもと、理事・代議員による検討プロジェクトを設置して、今後の活動方針について協議を重ねてまいりました。

その結果、これまでの地域ごとの支部組織による活動では、運営の持続が困難であるとの結論に至り、令和7年6月の社員総会において、「現行の支部組織は2026年3月末をもって終了する」ことが承認されました。

これにより、現行の支部規程による支部活動は終了となります。雄飛会(同窓会)の活動は形を変えて継続いたします。今後は、地域に限らずクラブ活動や企業・クラス単位の集まりなど、一定の条件を満たす団体からの申請に基づき支援金を交付する「親睦会支援制度」を新たに設け、より自由で多様な交流を支援してまいります。

雄飛会(同窓会)は、今後も同窓会活動の活性化と持続的な発展を目指し、改革を進めてまいります。会員の皆さんにおかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「親睦会支援制度」につきましては、次ページに内容の説明があります。

特集：支部活動報告

福岡県筑後支部くつろぎの懇親会報告

福岡県筑後支部 支部長

西山 友幸 (1971年/昭和46年電気工学科卒)

くつろぎの懇親会開催の経緯

令和7年5月18日久留米市のハイネスホテル久留米で2年ぶり2回目のくつろぎの懇親会を開催致しました。

筑後支部は2年毎に総会を開催しています。前回は令和6年5月に第14回総会を開催致しました。

総会には毎回30名前後の参加を頂いていますが、回数を重ねるごとに参加者の高齢化が目立つようになりました。

また、役員については、令和8年5月の総会時点で役員の半数近くが77歳以上の高齢者となります。

支部役員会では、定期的に年4回会議を行っていますが、数年前から役員の若返りが大きなテーマになってきました。

数年前から役員の若返りを目的に、毎年40~60歳前後の方に声を掛け役員との情報交換会に参加を頂き、支部の現状について理解して頂くとともに食事をしながら親交を深めてきました。

毎年再開する度に会話が弾むようになり、次期役員への打診についても前向きな返事を頂けるようになりました。

こうした事もあり、同窓会の活性化には多くの出会いの機会を増やすことが必要ではないかと考え、総会の無い年度にくつろぎの懇親会を開催することにしました。

今年で2回目のくつろぎの懇親会は、参加者は19名と少数ではありましたが、若い方の参加者も増え歓談の輪が広がり有意義な懇親会であったと思います。

支部会員の皆さま、次回は是非ご参加下さい。

筑後支部会員の皆さまにお知らせ

支部規程の廃止に伴い、現行の支部組織の活動終了のため、新たな筑後地区同窓会を立上げ、引き続き同窓会活動を継続します。

筑後地区同窓会からのお知らせはメールでの配信となります。

電話番号、メールアドレスを下記宛てにお知らせ下さい。

事務局 中野 (ナカノ)

TEL 090-1516-1528 メール s-nakano@seeds-earth.com



最後になるかも？佐賀県支部総会・3県交流会

佐賀県支部 支部長

牧瀬 亥一郎 (1969年/昭和44年電子工学科卒)

佐賀県支部総会（令和7年7月26日）

3年ごとに開催の佐賀県支部総会を熱中症アラート発令の中、開催いたしました。来賓は、本部同窓会・小柳会長、長崎県支部・古川支部長（島原市長）以下5名、大分県支部・柴田支部長以下3名を迎える。佐賀県支部出席者は18名という、来賓が多いのでは？と感じられる総会になりましたが、大久保佐賀県支部事務局長の心意気に引っ張られながらの開会となりました。

まず、支部長挨拶では、同窓会本部の支部組織から親睦会組織への移行を受けて、佐賀県支部総会としては、最後になるかもしれないという気持ちを含めて、支部長としての私を顧みて「支部長として、余り積極的ではなかった。俗に言う『為したことの少なかり、為さざることの多かり』の私でした。全て大久保事務局長におんぶにだっこでした。」等々。

次に総会議事に移り、支部活動報告、決算報告・監査報告がスムーズに終了いたしました。

懇親会に先立ちました、小柳会長からは、親睦会への移行に伴い、各支部の親睦会としての期待等、長崎県・大分県支部長からは、支部活動状況の報告がありました。

その後は、待ちに待った懇親会となりました。

3県交流会（佐賀県・長崎県・大分県）（令和7年9月13日）

「秋来ぬと

　　目にさやかに 見えねども
　　風の音にぞ おどろかれぬる」

9月13日に3県交流会を楽しく楽しく開催いたしました。私は、佐賀県支部長は、久しぶりに二日酔い気味の翌朝を迎えました。



親睦会支援制度について・・・

正会員（卒業生）が親睦会等を開催する場合は、「一般社団法人雄飛会 親睦会支援規程」に定める親睦会支援金を申請することができます。

【対象者】

支援対象となる親睦会等は、次の(1)を満たし、かつ(2)または(3)のどちらかに該当するものとします。

(1) 正会員が主催し、かつ正会員が10名以上参加する団体とする。

(2) 卒業学部・学科・クラス・ゼミ・クラブ・サークル等で構成する団体、共通の地域または、職域で構成する団体とする。

(3) その他、本会に深く貢献された方の祝賀会等、或いは母校の興隆進展に深く寄与する親睦会等

【支援金額】

支援金額は、参加者（正会員）1名につき2,000円とし、100,000円を上限とします。

※ただし、別団体であっても、同一人物に対しては年度内に1回限りとし、重複して支援は行いません。

支援金の申請には条件や団体登録申請書等、各種申請書類の提出が必要です。

手続き方法および申請用紙につきましては、同窓会ホームページ「親睦会支援制度のご案内」をご覧ください。

<https://www.fit.ac.jp/dousoukai/blog/?p=1835>

令和8年4月1日
スタート！



福岡県北九州支部活動報告

福岡県北九州支部 担当代議員
小柳 礼二郎 (1974年/昭和49年電子工学科卒)

福岡工業大学同窓会「雄飛会」北九州支部に於きましては、令和7年9月6日（土曜日）に小倉ステーションホテルにて定期の北九州支部総会を開催致しました。この度は、特別来賓として同窓会本部より小柳辰生会長の御出席を戴く事が出来ました。今年の連続の酷暑の影響か、総会参加者は18名の少数での陣容となりました。

先ず、全員での集合写真撮影を行い、開会宣言後直ちに声高らかに学園歌斎唱で愛校心を高揚させて、木村支部長の挨拶の言葉から始まり、この度来賓の小柳会長より同窓会の現状と来年度より組織・形態が大きな変革となる骨子について解り易い御説明があり、同窓会の新構想に理解を深めるに良い機会となりました。

また、大学の新規入学者の状況や活発な就職活動の成果につきましても相当な結果が顕著である旨の御報告があり、学内関係者の弛まぬ御尽力に感服し聞き入る事しきりでした。

各議題報告と確認を終えての懇親会では、宴たけなわでいつものアトラクションも今回はクラッカーのクジ引きで大いに盛り上がり、時間を忘れての交流の締めは第一応援歌をハイテンションで唱い上げ、名残惜しくも支部総会は再会を約束して成功裏に終了致しました。

支部活動の活性化としての通年イベント行事は、正月の新年会で過去ボーリング大会も開催、夏は納涼会で解放感のある閑門橋下ノーフォーク広場と皿倉山山頂でのBBQを一年毎に交互に催しながら、初夏の暑い日、岡垣クラフトビールでの格別な仕込みたての本格的生ビールパーティーもありました。

更に有志に依るゴルフコンペは支部単独と北九州・福岡合同コンペが年一回開催されて親睦と交流を図っており、同窓意識を高めております。

また、一昨年の立花祭には支部7名で参加見学遠征致しまして、在校生の若く輝く活力にパワーをもらい、秀崎館長のFITミュージアムでは現存が極めて稀な真空管構成の音響機器を目近に出来て感激し、母校の洗練された校舎群や施設に驚きの声が上がる中、秋の夕日を浴びながら帰路に就きました。

九州の伝統強豪の母校ラグビー部の対外交戦が北九州市内のグラウンドで開催の折には、ライトブルーの小旗を打ち振りながらゲームの展開と母校の活躍に声を嗄らしての応援に興奮しました。

ここ数年は支部新規参加者への発掘勧誘の為の挑戦として支部全員約3000名を対象として、総会案内状を発送致しましたが、思いのほか返送効果は得られず、更なる工夫の必要性を再認識しました。

情報受発信の取り組みとして、ネットメディアの充実の為に支部ホームページも同窓会本部とリンクする形態で更新し再構築する事ができました。

来年度より同窓会の在り方も大きく変革される事から、従前の様な支部活動も再考の必要性がありますが、新組織での同窓会員の集いを模索して旧交を深める活動は継続すべきと考えます。

最後に、母校の益々の御発展と雄飛会の皆様方の御健勝を祈念致しまして、北九州支部活動の御報告を終わらせて頂きます。



福岡県福岡支部活動報告

福岡県福岡支部 支部長
小口 幸一 (1971年/昭和46年電子工学科卒)

令和7年9月19日金曜日午後6時から、福岡工業大学同窓会福岡支部の集いを役員同窓生合わせて50名のご臨席を戴き開催いたしましたのでご報告いたします。

福岡支部の今年度の活動計画に「支部主催の集い」を掲げ、計画から準備へと移行し半年かけて当日を迎えました。準備期間中は古い過去のデータを編集し150名の同窓生を抽出させて頂き、往復はがきでの案内と併せて電話でのご案内や、事業所に於けるポスター掲示、またSNSでの呼びかけ等を展開した結果、参加者目標であった50名を達成出来ました。

当日は久方振りに再会を果たせた同窓生が多く、中には飲み物や食事も口にすることができない程に談義に花を咲かせる状況で、正に高山流水そのものであったと思います。

集いも宴たけなわの中盛況裡に閉会することが出来ました。また、帰り際には「本当に楽しかった、有難う、また開催して欲しい」旨のご意見も多数ありました。

この度の集いは支部主催としては最後の開催となりましたが、虚心坦懐の姿勢で臨んだことが成功に導く結果となったものと確信致します。



代議員・支部長向け説明会を開催しました

令和7年11月3日(月・祝)に「支部組織の活動終了に伴う説明会」を開催しました。当日は、全国にある24支部の支部長と代議員が合計26名参加しました。

説明会終了後は、同日開催された母校・福岡工業大学の学園祭「立花祭」や「卒業生交流イベント」に各々参加し、学生・卒業生と交流を深めました。なお、立花祭・卒業生交流イベントにつきましては、次号の雄飛に掲載予定です。



決算・予算報告

令和6年度決算 令和6年度収支計算書(R6.4.1～R7.3.31)		単位:円	
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
会費	24,860,000	大会費	0
雑収入等	36,319	理事会費	774,882
前年度預り金	△ 7,090	企画・広報費	9,000
当年度預り金	6,920	組織支援費	3,178,550
当年度収入合計	24,896,149	学生支援費	2,020,360
前年度繰越金	96,650,156	FIT Museum事業費	3,347,887
		事務局費	5,264,455
		特別記念事業費	0
		予備費	0
		当年度支出合計	14,595,134
		次年度繰越金	106,951,171
収入合計	121,546,305	支出合計	121,546,305

令和6年度決算 貸借対照表(R7.3.31現在)		単位:円	
資産の部		緑越金の部	
科目	金額	科目	金額
現金	212,819	預り金	6,920
普通預貯金	16,738,352	前期繰越正味財産	96,643,236
定期預貯金	90,000,000	任意積立金	90,945,074
		特別記念事業費積立金	5,698,162
		当期正味財産増減額	10,301,015
合計	106,951,171	合計	106,951,171

期中増減額(R6.4.1～R7.3.31)				単位:円
区分	R6.4.1現在	期中の増減	R7.3.31現在	
現金・普通預貯金	16,650,156	301,015	16,951,171	
定期預貯金	80,000,000	10,000,000	90,000,000	
合計	96,650,156	10,301,015	106,951,171	

令和7年度予算 令和7年度収支予算(R7.4.1～R8.3.31)		単位:円	
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
会費	24,900,000	大会費	0
雑収入等	35,000	理事会費	1,100,000
前年度預り金	△ 6,920	企画・広報費	566,000
当年度預り金	6,920	組織支援費	5,750,000
当年度収入合計	24,935,000	学生支援費	2,900,000
前年度繰越金	106,951,171	FIT Museum事業費	4,310,000
		事務局費	5,465,000
		特別記念事業費	0
		予備費	2,000,000
		当年度支出合計	22,091,000
		次年度繰越金	109,795,171
収入合計	131,886,171	支出合計	131,886,171

母校が所蔵する
歴代PCコレクション

コモドール CBM
(Commodore Business Machines)



1977年発売のコモドールCBMシリーズは、世界初期の商用パソコンの一つ。初代CBM200IはMOS6502 (1MHz)を搭載し、RAMは4～32KB構成。モノクロCRTディスプレイとデータカセットを一体化し、タイピライター風キーボードを備える。BASICをROM内蔵し、起動直後からプログラミング可能だった。価格は米国で約1,000ドル、日本で約40万円。教育・オフィス向けに普及し、後継シリーズへ発展したビジネスPCの草分け的名機である。

シャープ MZ-80



1978年発売のシャープMZ-80は、国産パソコン黎明期を代表する8ビット機。CPUにZilog Z80 (2MHz) を採用し、RAMは20KB (最大48KB) を搭載。モノクロCRTとカセットトレーダーを一体化した設計が特徴で、BASICやアセンブラーを外部テープから読み込む方式を採用。標準価格は約19万8,000円。教育機関やホビーユーザーに広く普及し、自作プログラム文化を育んだ。日本のパソコン発展を支えた画期的モデルである。写真はMZ-80B (1981年発売)。Z80A (4MHz) 搭載、RAM32KB (最大64KB)。グラフィック機能を強化し、BASIC内蔵ROMを搭載。ビジネス用途にも対応。価格298,000円前後。

事務局からのご案内

I. 募金・名簿などの勧誘について

民間の広告会社や出版社が同窓会の名を騙り、募金・名簿などの勧誘を行っているようです。同窓会では寄付や名簿に関する活動などについては、理事会および社員総会の決議を経て責任の所在を明確にして、必ず文書でお願いしております。従って、上記のような勧誘に対しては、同窓会本部では何ら感知しておりませんので、ご注意ください。なお、同窓会全体名簿は平成11年以降発行しておりません。

3. その他

就職支援情報、会報「雄飛」に関する感想、そのほかお問い合わせなどございましたら、同窓会事務局までメールにてご連絡をお願いいたします。

2. 異動の連絡について

交流会案内などが皆様のお手元に届くために、住所・電話番号・勤務先の変更や改姓などがございましたら、同窓会事務局までご連絡をお願いいたします。異動のご連絡は、同窓会HP(<http://www.fit.ac.jp/dousoukai/>)の『住所変更フォーム』から行うことができます。住所変更フォームがご利用できない場合は、メールまたはFAX、ハガキでも受け付けております。



住所変更フォーム QRコード

編集後記

時代や社会の変化に合わせ、同窓会制度も新しい形へと進化しています。今後は、地域の枠を越えた活動や若い世代との交流がさらに広がることを期待しています。変化は挑戦ですが、皆さんと共に、より良い同窓会を育てまいりましょう。次号もぜひご期待ください。(企画・広報部)

一般社団法人 雄飛会
(福岡工業大学同窓会)会報

vol.
32

発行

一般社団法人 雄飛会(福岡工業大学同窓会)

〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1

TEL/FAX 092-608-5982

E-mail dousoukai@fit.ac.jp

URL <http://www.fit.ac.jp/dousoukai/>

